

9月30日（月）朝礼にて

9月2日に2学期が始まって、運動会やお休みの関係で久しぶりの朝礼です。いっぱいみんなのいいところを見つけて、いっぱいしゃべることがあったけれど、今朝、いつもどおり学校の回りや校庭を回っていたら、とっても悲しいことを見つけてしまいました。ですから、まずそのお話しをします。

彼岸花って知っているかなあ。じゃあ、学校にあるの知ってる人。おっ、全員知ってる。すばらしい。この花、曼珠沙華とか、天上の花と言って、おめでたいことの兆しの花とされています。そして、

この時期に咲く、とても有名な花です。季節を自分で決めて咲きます。一番最初に咲いたのは、体育館の北側、すぐそこです。一番日当たりが悪くて一番気温が低いから、一番最初に秋を感じて運動会の前に咲いて、運動会の頃には枯れかけていました。今、東の方の花が満開ですね。その花の



首をちょん切る人がいる。無残な姿です。そういうことをする人が残念ながらいます。ひょっとすると、秋竹の子じゃないかもしれない。外部の人が入ってきてやったのかもしれない。けれど、可能性としては校内で生活している人が一番怪しい。花を切ってしまうと花は死んでしまいますよね、秋に咲くことを考えて、夏の暑い中も頑張ってきて、やっと咲いたと思ったら切られちゃった。花の気持ちも考えてみてください。

もう一つ。彼岸花は葉っぱがないでしょう。そういう意味でも珍しい花なんです。そして、あの花が枯れちゃった後、葉っぱだけが出てきます。晩秋から冬にかけて寒い中、彼岸花の葉っぱだけが緑色をして頑張っています。そして、春が近づいてくるといつの間に

かなくなっています。そして、また運動会の頃になると思い出したように咲くんです。

中国で飢饉のとき、飢えで苦しんだときですね。そんなときでも彼岸花だけは咲くんです。栄養がなくても咲きます。球根ってわかりますよね。彼岸花の球根を食べて生き延びた人たちがいたというお話があります。球根には少し毒があるんですが、よく洗うと大丈夫だそうです。そういうことを知っている人たちが飢えをしのいで生き延びた、とても大切な植物です。

以前、お話ししたと思いますが、かつて秋竹小学校の教頭先生をしていらした先生が、植えて増やしたものです。もし、きれいな花を切っている人がいたら注意してほしいし、もしあなただったらやめてください。彼岸花、曼珠沙華、天上の花いろんな呼び名がありますが、大切にしてほしいと思います。

さて、運動会が大成功に終わりました。どこの学校にも伝統があります。お母さんたちや先生方、地域の方々に「秋竹小学校はなかま活動があって、すごいよね。今年はどうだったんですか。」という人々から聞かれます。「ちゃんと立派にやってくれていますよ。」と答えています。秋竹小学校は、みんなも知っているように学級数が少なく、先生も少ないです。運動会は大勢の児童がいる学校でも秋竹小学校でも、同じことをやります。すると人手が足りません。そこで力を出してくれるのが4・5・6年生の委員会人たちです。6年生がリーダーシップを発揮してとてもしっかりやってくれていました。5年生は、慣れないことから、総練習のときはバタバタしていましたが、本番ではきちんとやることができました。そして、本番。あの4年生がしっかりと活動してくれました。すごいと思いました。(これなら来年5年生になって6年生を支えられるようになるかもしれないなあ)と少し安心しました。特に、5・6年生の競技のとき、4年生しかいません。それでも、とてもしっかりと自分たちの役目を果たしてくれました。

今週末、5年生が野外活動に出かけます。その時のお話しは再来週にしたいと思います。